

No.16 「寿司」

おはようございます。

校長先生の声、届いていますか？

さて、明日2月2日は何の日でしょうか？そう節分です。節分、漢字で書くと季節を分けると書くのですがどう季節が分かれるのでしょうか？

それは、冬と春のわかれめがこの日だと、月の動きをもとにした昔のカレンダーで決めたのですね。2月3日は春が始まるので、立春となりその前日が節分とよばれるわけです。

そして、この季節の変わり目には昔からある妖怪がでると言われていたので、昔の人は前日の夜にあることをして、妖怪が家に入ってきて来ないようにするのですね。さて、なんていう妖怪が入ってくるのかな？また、家に入ってきたように、どんなおまじないをするのかな？

まわりの人と聞き合ってみましょう。

そう、鬼がでると言われ、鬼退治のために、豆をまいたりある食べ物を食べて鬼よけをするのですね。何を食べるのかな？

そう、巻き寿司を食べるのですね。鬼の持つ金棒を巻きずしに見立てて、食べてしまって鬼を追い払おうというのが、巻きずしを食べる起源と言われています。

今年はどちらの方角を向いて食べたらいいか知っていますか？南南東ですよ。なお、食べている間はしゃべってはいけないですよ。

そしてこの巻き寿司ですが、少し前まで節分の日に食べるのは、この大阪ぐらいで東京や他の街では全く食べなかったそうです。それがこの20年ぐらい前にセブンイレブンのコンビニが節分に「恵方巻き」を食べましようと呼びかけた結果、なんと最近では豆まきをする家より、恵方巻きを食べる家の方が日本全国でも増えてきたそうです。宣伝の力ってすごいですね。

さて、このお寿司、みんなも大好きだと思いますが、小学生に人気の食べ物ランキングでは何位

だと思いますか？

順位発表、第5位はカレーライス、4位はフライドポテト、3位はラーメン、2位は唐揚げ、そして断トツの第1位がお寿司です。(リサーチ会社によって若干の変動はあります)

そんな、みんなに大人気のお寿司ですが、この日本ではいつぐらいから食べられていたかしっていますか？なんと、今から1300年も前の奈良時代ぐらいから食べられていたそうです。しかもその頃はまだお酢ですし飯をつくるのではなく、冷蔵庫がないので魚を長く保存するために塩漬けて、それをご飯と食べることを鮓とよんでいたそうです。

いわゆる握りずしが食べられるようになったのは、今から400年前の江戸時代ごろからで、気の短い江戸っ子たちが、少しでも急いでご飯を食べられるようにと、発明されたそうです。しかも、当時は屋台で売られていて、江戸っ子は立ってお寿司をほおばって、次の仕事場に向かったそうです。確かに、急いでいるときにお寿司はすぐに食べられていいですね。

巻きずしもその頃大阪で発明されたと言われていますが、どのようにして巻きずしは発明されたのでしょうか？

なんと、あるひょうきんな人が、ご飯の上に魚ではなくて、魚のまわりにご飯を巻きつけたらどうだろうかと、冗談半分でお寿司屋さんに頼んだらしいのです。さすがにそのままでは食べづらいということで、そこに海苔を巻いたのが巻きずしの始まりだそうです。

ちなみに、大阪では卵焼きやキュウリなどたくさんの具材を巻いた太巻きが人気ですが、東京ではたくさんの具を巻くのは野暮だから、キュウリやマグロなどの一品だけでいいと、かっぱ巻きや鉄火巻きなどの細巻きの方が人気があります。

みなさんの好きなお寿司は何ですか？校長室前のボードに書きにきてください。